

目標達成計画

作成日: 令和 6年 12月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	外出が出来る期間と、感染対策から外出を控える期間があり、地域や外出支援がなかなか行えないことがあった。地域の中に外出という点では少ない。 地区の人はグループホームの事を知っているがまだ活動の様子についてアピールが不十分である。	入居者との活動をより多くし、入居者が地域と関わる機会を持ち、いきいきとした生活が送れるようにする。	地域の資源を確認し、コロナ前に訪問していた場所や地域の活動やお祭りに出かけ、関りのあった方々を再訪問する。 ボランティアさんの来苑を積極的に行い、イベントを通じた地域と入居者との関わりを持つ。 日常生活支援(調理・掃除・洗濯等)を通じた機能訓練を実施し、日々の様子をブログでの発信や建物内の掲示、運営推進会議の場で紹介をする。	12ヶ月
2	45	入居者と関わる時間が少なく、役割や楽しみ事や活動の場面が少なくなっている。	入居者との外出や苑内での活動を多くし、入居者の日々の生活が楽しめるような環境整備と業務の見直しを行う。	入居者との関わりに重点をおき、課長・リーダー会議で課題や見直しを行っていく。 定期的な外出支援(買い物やドライブ)を行い、ご家族と一緒に実施できるような取り組みを行う。 日常生活支援からそれぞれの得意分野を把握して、入居者個人の活躍の場面を作っていく。	12ヶ月
3	25	防災訓練において地域住民と入居者と一緒に訓練を実施できていない。	消防設備の場所の把握を行い常に消火器や消火栓の使用、避難が非常時に対応ができる。 日中を想定した避難訓練に地域住民の方に参加してもらえる様な、協力体制を整える。	消火栓や消火器の使用方法、避難経路図の場所の周知と併せて業務継続計画、マニュアルに基づいて訓練の実施。 職員全員が訓練内容を把握できる様に体制を整え、訓練時には併設施設利用者と共同で訓練を行う。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。